

8. 道路交通・都市施設

(1) 国道・県道整備状況

宮城県全体での道路改良率、舗装率及び歩道等設置率は、それぞれ92.3%（改良①）、83.9%（改良②）、98.9%（舗装）、54.1%（歩道等設置率）となっており、これと比較すると、町内における国道・県道の道路改良率が県平均に比べ低いことがわかります。

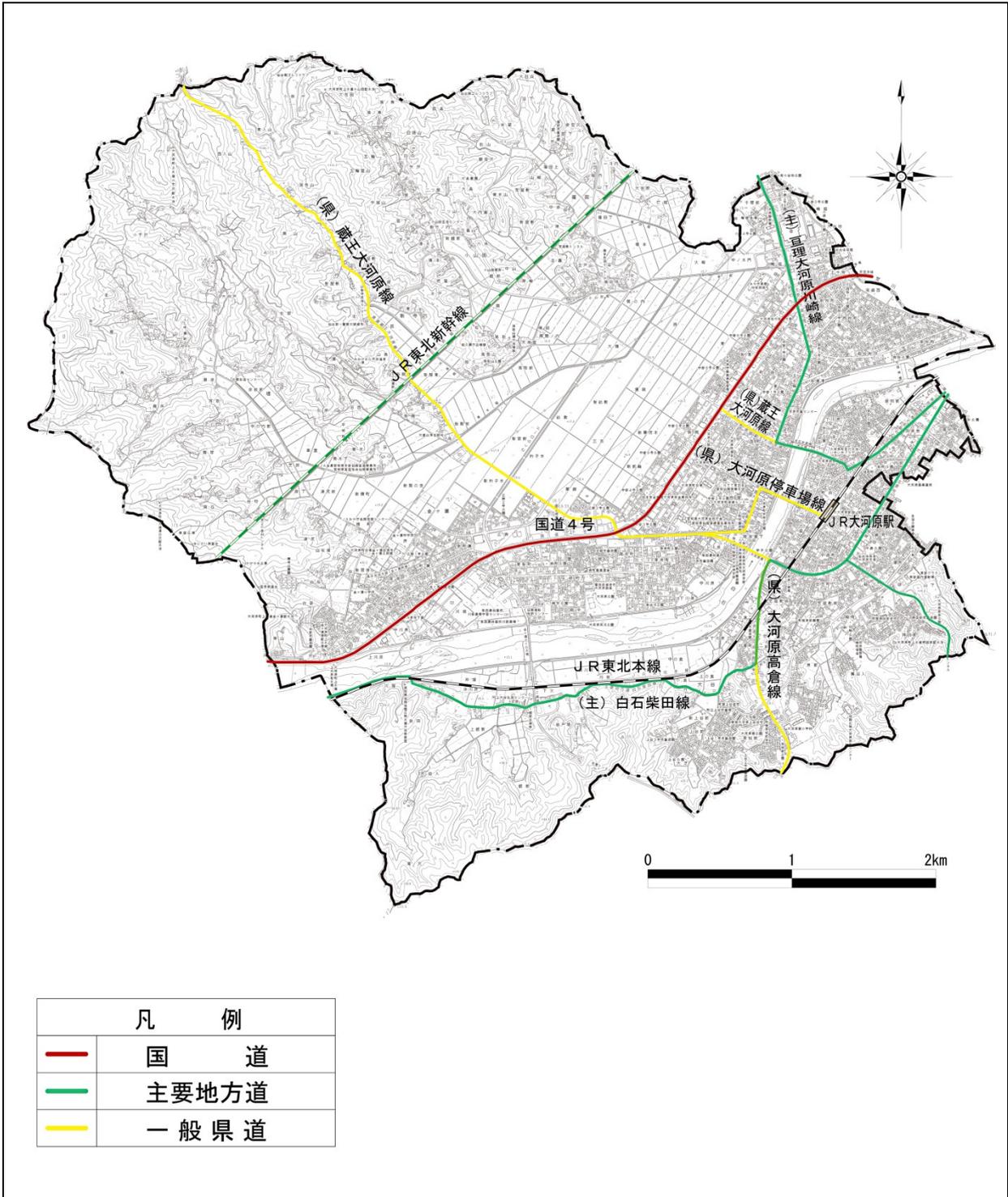
表 3-25 国道・県道の整備状況

(単位：延長m、率%)

区 分	国 道					
	指定区間①		指定区間外（県管理）②		計（①+②）	
実延長	5,207		0		5,207	
改 良①	5,207	100.0%	0	0	5,207	100%
改 良②	5,207	100.0%	0	0	5,207	100%
舗 装	5,207	100.0%	0	0	5,207	100%
歩道等設置道路延長	4,703	90.3%	0	0	4,703	90.3%
歩道等のべ延長	9,014		0		9,014	
区 分	県 道					
	主要地方道③		一般県道④		計（③+④）	
実延長	10,438.8		8,052.4		18,491.2	
改 良①	8,081.4	77.4%	5,211.1	64.7%	13,292.5	71.9%
改 良②	6,911.0	66.2%	5,067.1	62.9%	11,978.1	64.8%
舗 装	10,438.8	100.0%	8,052.4	100.0%	18,491.2	100.0%
歩道等設置道路延長	5,283.6	50.6%	4,177.1	51.9%	9,460.7	51.2%
歩道等のべ延長	8,780.0		5,853.4		14,633.4	
区 分	県管理道計		合 計		橋 梁	
	②+③+④		①+②+③+④		数	延長
実延長	18,491.2		23,698.2		10 (1)	537.4 (55.0)
改 良①	13,292.5	71.9%	18,499.5	78.1%		
改 良②	11,978.1	64.8%	17,185.1	72.5%		
舗 装	18,491.2	100.0%	23,698.2	100.0%		
歩道等設置道路延長	9,460.7	51.2%	14,163.7	59.8%		
歩道等のべ延長	14,633.4		23,647.4			

出典：「平成28年度 みやぎの道路」（平成28年 宮城県）

※改良①は車道幅員5.5m未満の改良済延長を含み、改良②は5.5m以上の改良済延長のみ



出典：「宮城県管内図（路線図）」（平成28年 株式会社マップテクノ仙台）

図 3-24 交通網（国道・県道）図

(2) 現況交通量

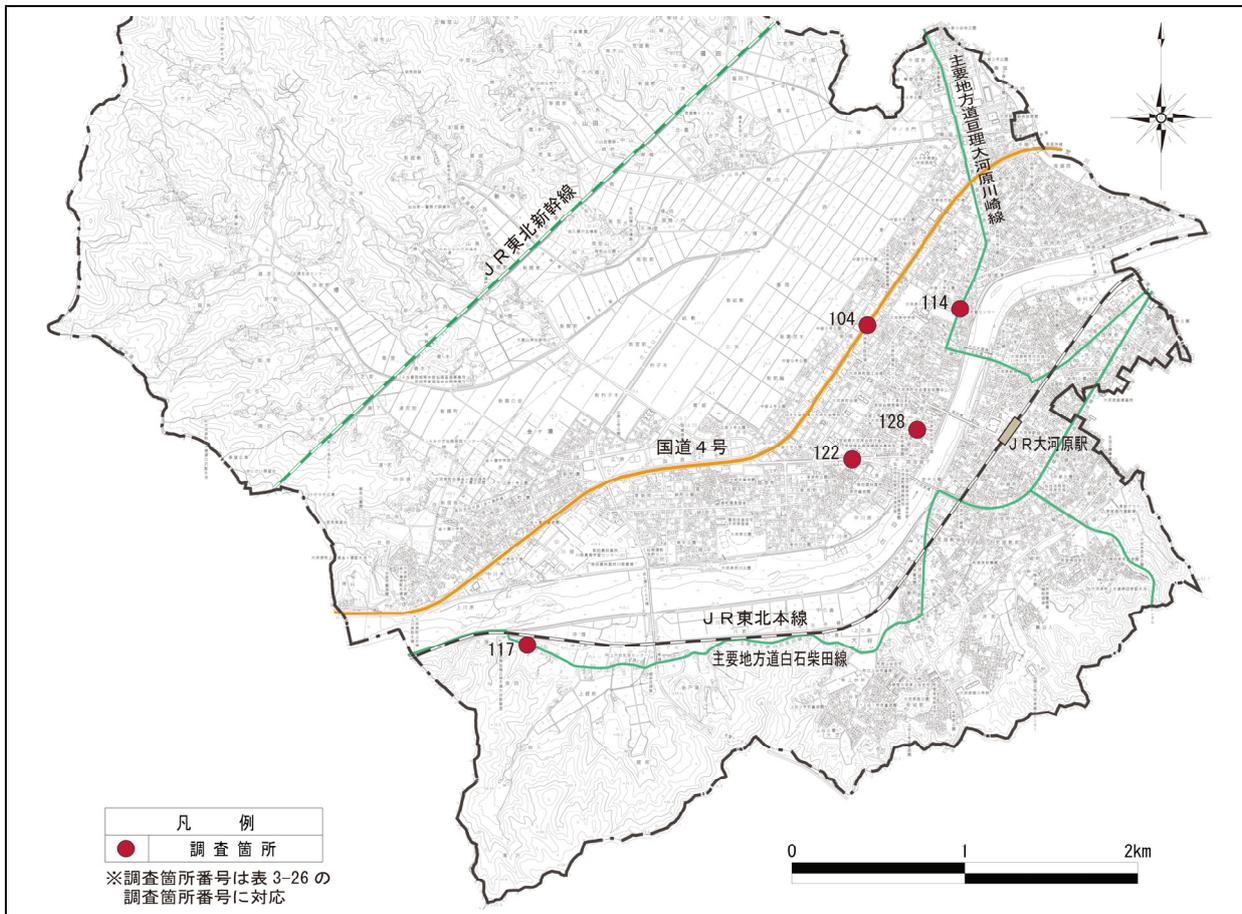
平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査 によると、町内の主要幹線道路となる国道4号では 30,119台/日と最も多く、主要地方道・大河原高倉線が 14,968台/日とそれに続いています。

また、混雑度（混雑度＝交通量/交通容量）においては、1.00を超える箇所が1日に数時間程度混雑する可能性の高い場所とされますが、町内においては No.114 主要地方道・亘理大河原川崎線における末広橋周辺において若干の渋滞がみられるものの、町内における国道4号は、近年の4車線への道路改修により混雑の解消が進んでいます。

表 3-26 交通量と混雑度の状況

調査箇所番号	平成22年交通量調査単位区間番号	平成17年交通量調査単位区間番号	路線名	平成22年センサス		平成27年センサス		混雑度
				交通量(台)		交通量(台)		
				12時間	24時間	12時間	24時間	
104	10060	1007	一般国道4号	21,417	29,431	21,985	30,119	0.85
114	40630	74044	亘理大河原川崎線	7,361	9,496	5,943	7,429	0.93
117	41880	4145	白石柴田線	1,851	2,351	1,982	2,418	0.99
122	60140	46009	大河原高倉線	1,217	1,570	12,473	14,968	1.37
128	61610	46043	大河原停車場線	3,257	4,202	3,480	4,280	0.54

出典：「平成27年度 道路交通センサス」（平成29年 国土交通省）



出典：「大河原町都市計画基礎調査 報告書」（平成28年 大河原町）

図 3-25 道路交通センサス調査位置図

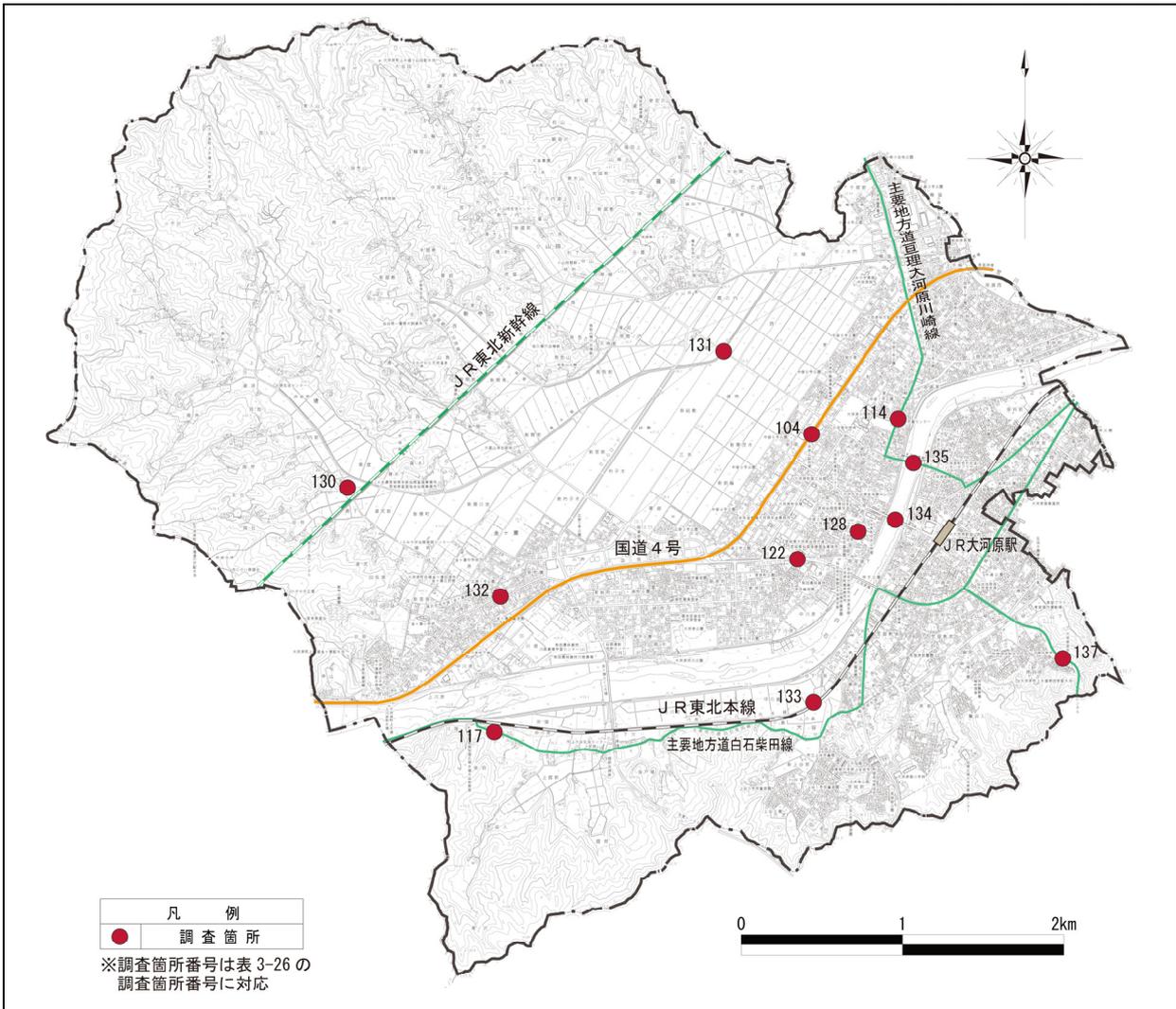
(3) 将来交通量推計

本町における平成14年第4回仙台都市圏パーソントリップ調査より、平成37年の将来交通量配分結果を下表に示します。

表 3-27 将来交通量一覧(24時間交通量)

比較箇所	路線名	平成37年 P T 配分結果
		A
104	一般国道4号	30,654
114	亘理大河原川崎線	13,966
135	亘理大河原川崎線	10,082
137	亘理大河原川崎線	5,715
117	白石柴田線	770
122	大河原高倉線	6,159
128	大河原停車場線	3,089
130	町道	710
131	町道	9,559
132	町道	3,942
133	町道	3,840

出典：「大河原町都市計画基礎調査 報告書」
(平成28年 大河原町)



出典：「大河原町都市計画基礎調査 報告書」(平成28年 大河原町)

図 3-26 将来交通量比較箇所位置図

(4) 都市計画道路

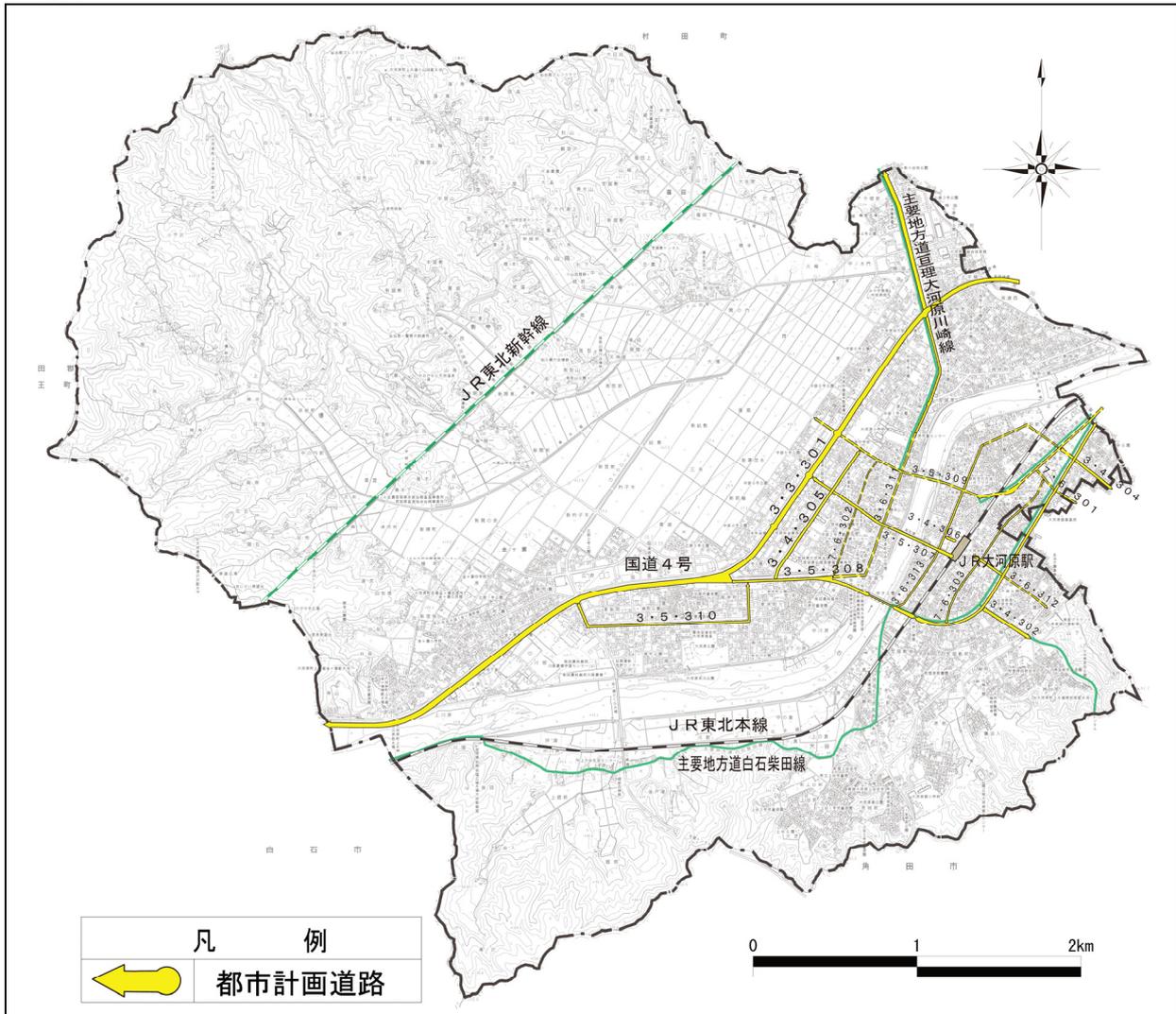
本町における都市計画道路は、国・県道や用途地域内の根幹的な道路として16路線が都市計画決定されており、このうち約13km（約59%）が完成しています。未整備路線の状況は以下のとおりです。

表 3-28 都市計画道路未整備路線の状況

番号	路線名	計画幅員 (m)	計画延長 (m)	整備済		概成済		未整備		当初決定
				延長 (m)	構成比 (%)	延長 (m)	構成比 (%)	延長 (m)	構成比 (%)	
3・3・301	国道幹線	22.0	5,190	2,720	52.4	2,470	47.6			S46
3・4・302	中島中央線	16.0	330	330	100.0					S37
3・4・303	中島東線	16.0	360	360	100.0					S47
3・4・304	東部線	16.0	380	290	76.3	90	23.7			S47
3・4・305	中部幹線	16.0	940	940	100.0					S54
3・4・306	駅北線	16.0	70	70	100.0					S63
3・5・307	駅前大通り線	15.0	970	970	100.0					S63
3・5・308	大河原中央線	15.0	2,980	2,980	100.0					S46
3・5・309	末広線	12.0	2,000	360	18.0	1,640	82.0			S54
3・5・310	東上線	12.0	1,370	1,370	100.0					S47
3・6・311	本町大通り線	11.0	2,770	780	28.2	1,990	71.8			S54
3・6・312	大河原駅東線	11.0	540	210	38.9			330	61.1	S42
3・6・313	尾形丁中央線	11.0	1,670	1,140	68.3			530	31.7	S37
7・6・301	西原中央線	9.0	340	150	44.1			190	55.9	S47
7・6・302	西浦通線	8.0	760			760	100.0			S37
7・6・303	中西線	8.0	1,080	860	79.6			220	20.4	S37
計			21,750	13,530	62.2%	6,950	32.0%	1,270	5.8%	

※表の都計道Noの後の（）内は代表幅員

出典：「大河原町都市計画基礎調査 報告書」（平成28年 大河原町）



出典：「大河原町都市計画図」（平成26年 大河原町）

図 3-27 都市計画道路位置図

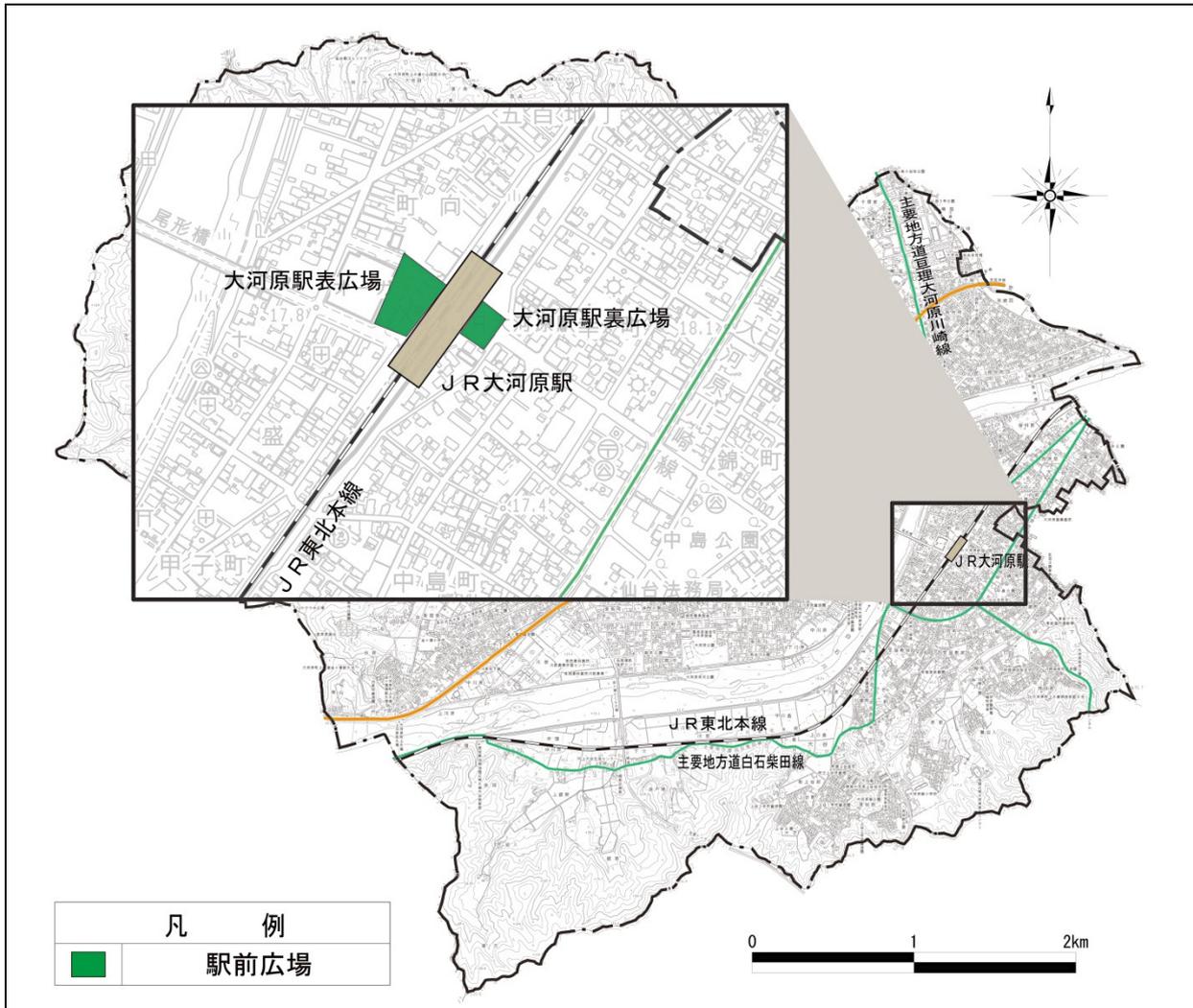
(5) 駅前広場

大河原駅では、JR東北本線大河原駅前広場として、東側（裏）、西側（表）の2箇所を都市計画決定しています。このうち西側（表）は供用開始済みですが、東側（裏）は未整備となっています。以下に都市計画決定状況及び位置図を示します。

表 3-29 駅前広場の状況

駅名	鉄道の運営主体	鉄道名	駅前広場面積 (㎡)		決定年月日
			計画	供用	
大河原駅 (表)	J R	東北本線	4,200	4,200	昭和63年8月12日
大河原駅 (裏)	J R	東北本線	1,400	—	昭和42年10月5日

出典：「都市計画現況調査」(平成27年 国土交通省)



出典：「都市計画現況調査」(平成27年 国土交通省)

図 3-28 駅前広場位置

(6) 都市公園

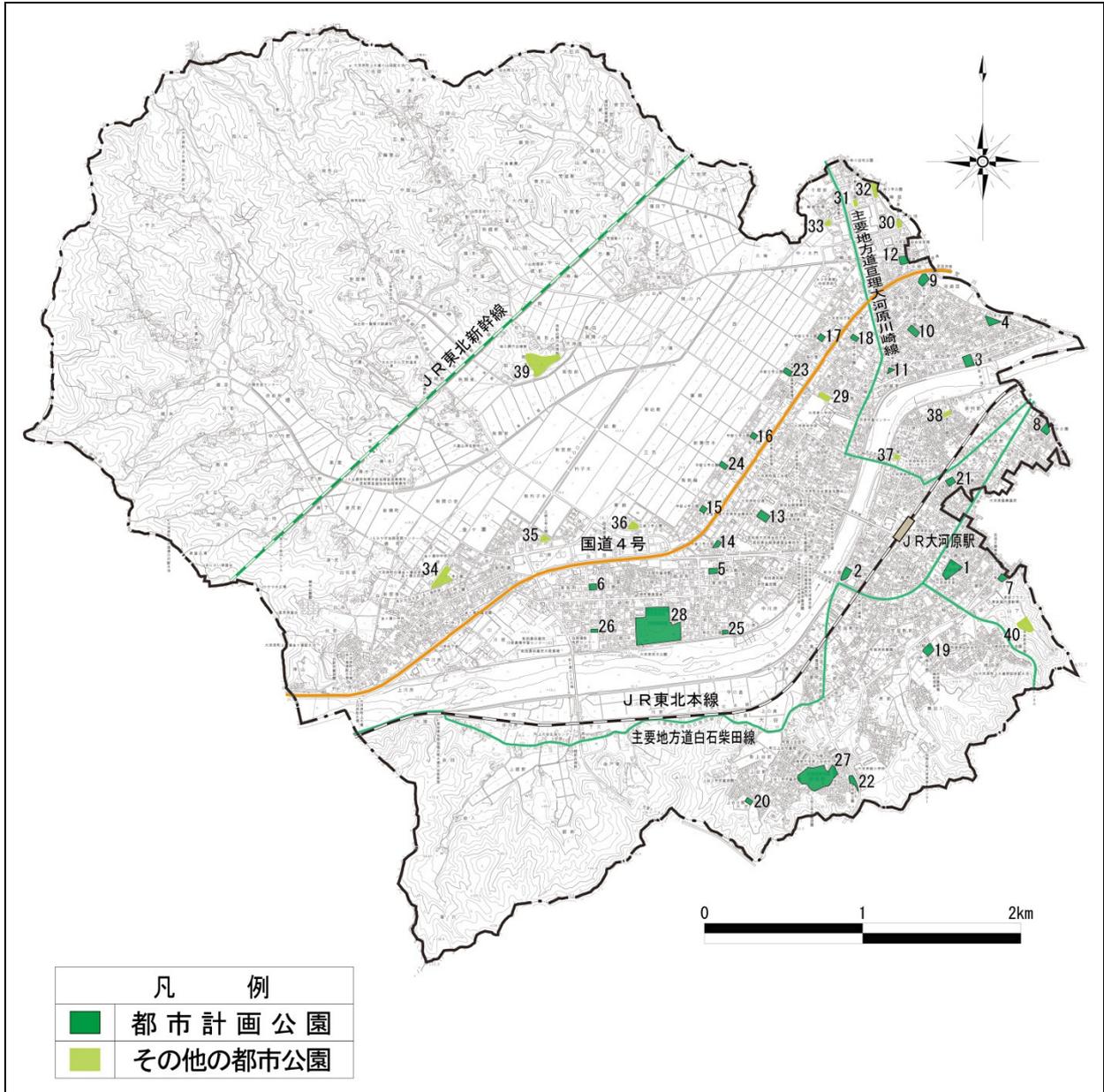
本町における都市公園は、その他都市公園を含め40箇所整備されています。都市公園の総面積を人口で除した住民一人当たりの都市公園面積は約7.7㎡となり、都市公園法施行令の参酌基準となる10㎡を下回っています。各公園の名称と面積、位置について以下の表及び位置図に示します。

表 3-30 都市公園一覧

No.	種類	名称	区分	公園番号	面積(㎡)
1	街区公園	中島公園	都市計画公園	2・2・301	8,226
2	街区公園	甲子公園	都市計画公園	2・2・302	3,092
3	街区公園	南桜公園	都市計画公園	2・2・303	3,585
4	街区公園	東桜公園	都市計画公園	2・2・304	2,960
5	街区公園	東原町公園	都市計画公園	2・2・305	1,967
6	街区公園	緑町公園	都市計画公園	2・2・306	1,987
7	街区公園	不動公園	都市計画公園	2・2・307	1,847
8	街区公園	高砂公園	都市計画公園	2・2・308	2,842
9	街区公園	西桜1号公園	都市計画公園	2・2・309	3,706
10	街区公園	西桜2号公園	都市計画公園	2・2・310	3,016
11	街区公園	西桜3号公園	都市計画公園	2・2・311	957
12	街区公園	東青川公園	都市計画公園	2・2・312	2,763
13	街区公園	中部2号公園	都市計画公園	2・2・313	3,500
14	街区公園	中部3号公園	都市計画公園	2・2・314	1,399
15	街区公園	中部4号公園	都市計画公園	2・2・315	1,500
16	街区公園	中部5号公園	都市計画公園	2・2・316	1,500
17	街区公園	中部6号公園	都市計画公園	2・2・317	1,500
18	街区公園	中部7号公園	都市計画公園	2・2・318	1,500
19	街区公園	山崎公園	都市計画公園	2・2・319	3,140
20	街区公園	上谷公園	都市計画公園	2・2・320	1,334
21	街区公園	旭町公園	都市計画公園	2・2・321	2,279
22	街区公園	見城前公園	都市計画公園	2・2・322	2,960
23	街区公園	中部8号公園	都市計画公園	2・2・323	1,790
24	街区公園	中部9号公園	都市計画公園	2・2・324	1,780
25	街区公園	新古川公園	都市計画公園	2・2・325	1,000
26	街区公園	南平公園	都市計画公園	2・2・326	1,000
27	近隣公園	大河原南公園	都市計画公園	3・3・301	27,253
28	地区公園	大河原公園	都市計画公園	4・4・301	54,043
29	街区公園	中部1号公園	その他の都市公園	-	2,242
30	街区公園	小島1号公園	その他の都市公園	-	1,055
31	街区公園	小島2号公園	その他の都市公園	-	1,000
32	街区公園	小島3号公園	その他の都市公園	-	2,600
33	街区公園	小島4号公園	その他の都市公園	-	1,204
34	街区公園	広表1号公園	その他の都市公園	-	6,121
35	街区公園	広表2号公園	その他の都市公園	-	1,920
36	街区公園	広表3号公園	その他の都市公園	-	2,513
37	街区公園	末広公園	その他の都市公園	-	1,017
38	街区公園	保科公園	その他の都市公園	-	1,429
39	特殊公園	馬取山公園	その他の都市公園	-	10,930
40	都市林	昆虫公園	その他の都市公園	-	6,008
都市計画公園 小計					144,426
都市計画公園 住民一人当たりの面積					6.1
都市公園 合計					182,465
都市公園 住民一人当たりの面積					7.7

出典：「大河原町都市計画図」（平成26年 大河原町）

「大河原町ホームページ（公園マップ）」（平成28年 大河原町）



出典：「大河原町都市計画図」（平成26年 大河原町）
 「大河原町ホームページ（公園マップ）」（平成28年 大河原町）

図 3-29 都市公園位置図

(7) 上水道

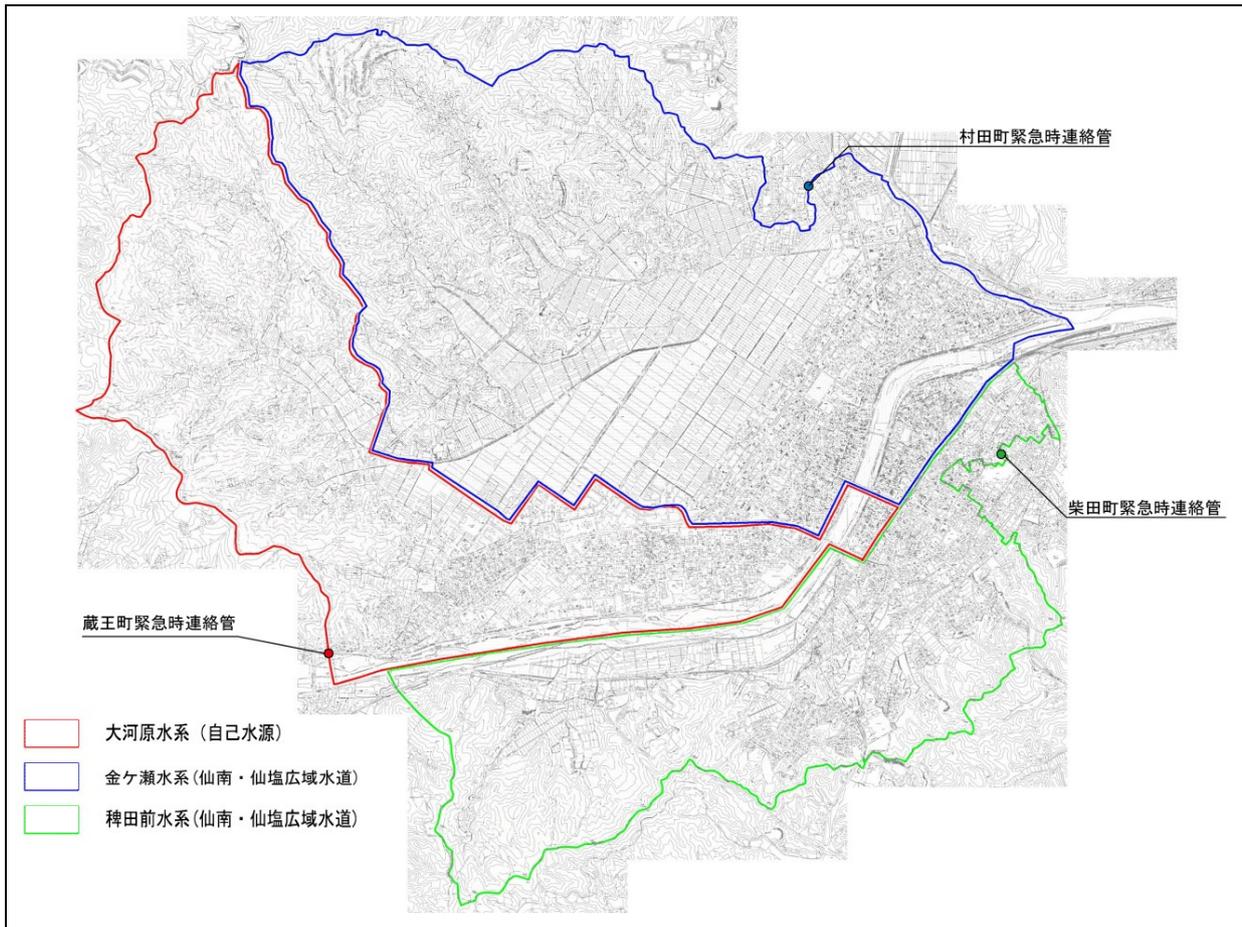
本町の上水道は、JR東北本線を境に東南側を仙南・仙塩広域水道の稗田前水系、北側を金ヶ瀬水系として配水し、西側は自己水（白石川伏流水）による大河原水系として配水しています。

世帯数の増加に伴って給水戸数も増加していますが、平成12年以降は99.8%の普及率を保っています。以下に詳細及び位置図に示します。

表 3-31 上水道の給水状況

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
給水戸数 (戸)	5,872	6,687	7,786	8,576	9,177	9,594	10,299
給水人口 (人)	19,240	20,323	21,983	22,892	23,454	23,413	23,727
普及率 (%)	94.2	96.5	99.5	99.8	99.8	99.8	99.9

資料：大河原町上下水道課調べ



出典：「配水区域図」（大河原町）

図 3-30 配水区域図

(8) 下水道

1) 汚水

本町の下水道は、阿武隈川下流流域下水道の処理区域に含まれています。

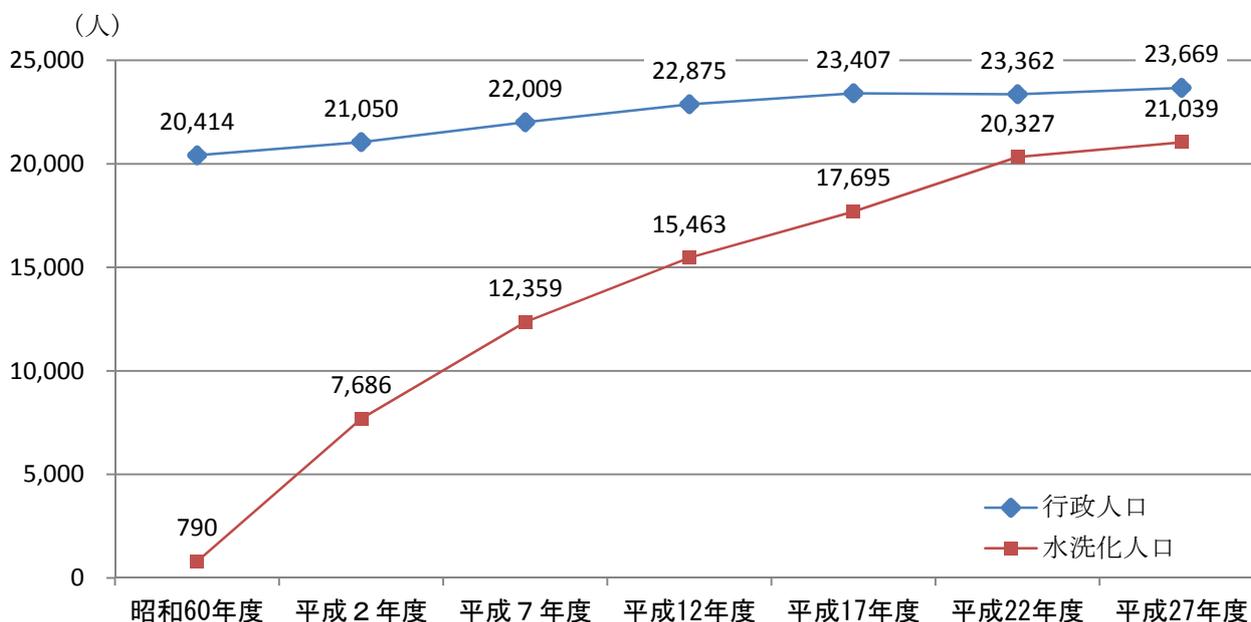
世帯数の増加に伴って年間の排水量も増加していますが、平成22年以降は行政人口が下水道計画人口を超過する状態となっています。以下に詳細及び位置図に示します。

表 3-32 下水道の状況

(単位：ha・人・戸・t・%)

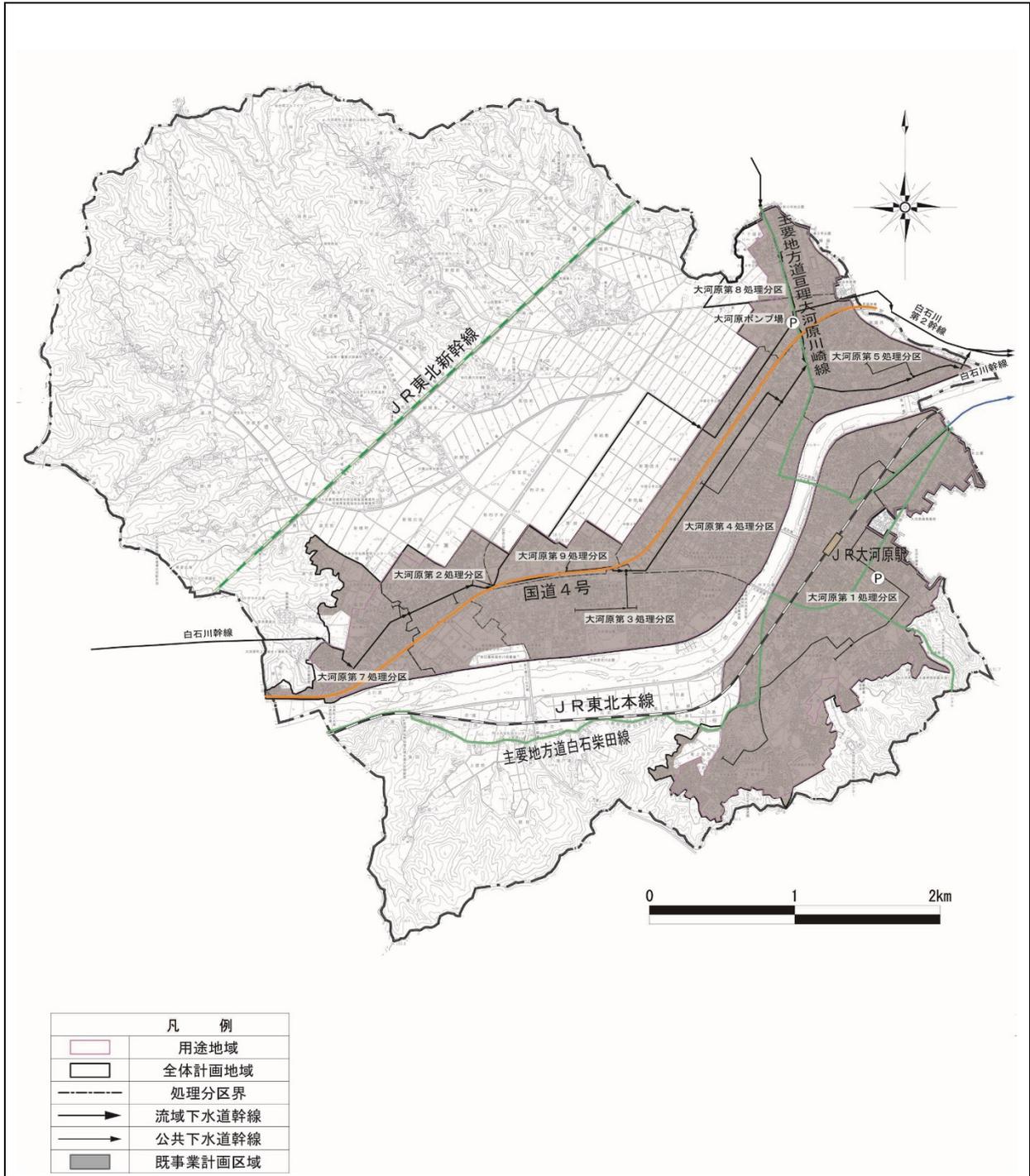
年 度	下水道 計画面積	処理区 域面積	行政 人口	下水道 計画人口	処理区域		水洗化数		水洗化率		年間 排出量
					戸数 (A)	人口 (B)	戸数 (C)	人口 (D)	戸数 C/A	人口 D/B	
昭和 60	631	110	20,414	18,634	1,400	3,313	193	790	13.8	23.8	32,000
平成 2	616	281	21,050	22,600	3,402	11,381	2,208	7,686	64.9	67.5	830,906
平成 7	824	348	22,009	24,100	4,692	14,957	3,817	12,359	81.4	82.6	1,351,043
平成 12	827	432	22,875	24,100	6,080	17,990	5,065	15,463	83.3	86.0	1,698,006
平成 17	827	539	23,407	24,500	7,551	20,591	6,656	17,695	88.1	85.9	2,000,764
平成 22	742	558	23,362	22,100	8,337	21,771	7,737	20,327	92.8	93.4	2,086,590
平成 27	742	570	23,669	22,100	8,897	22,155	8,424	21,039	94.7	95.0	2,119,944

資料：県南浄化センター・大河原町上下水道課調べ



資料：県南浄化センター・大河原町上下水道課調べ

図 3-31 下水道水洗化人口の推移



出典：「下水道計画一般図（污水）」（平成28年 大河原町）

図 3-32 下水道（污水）計画図

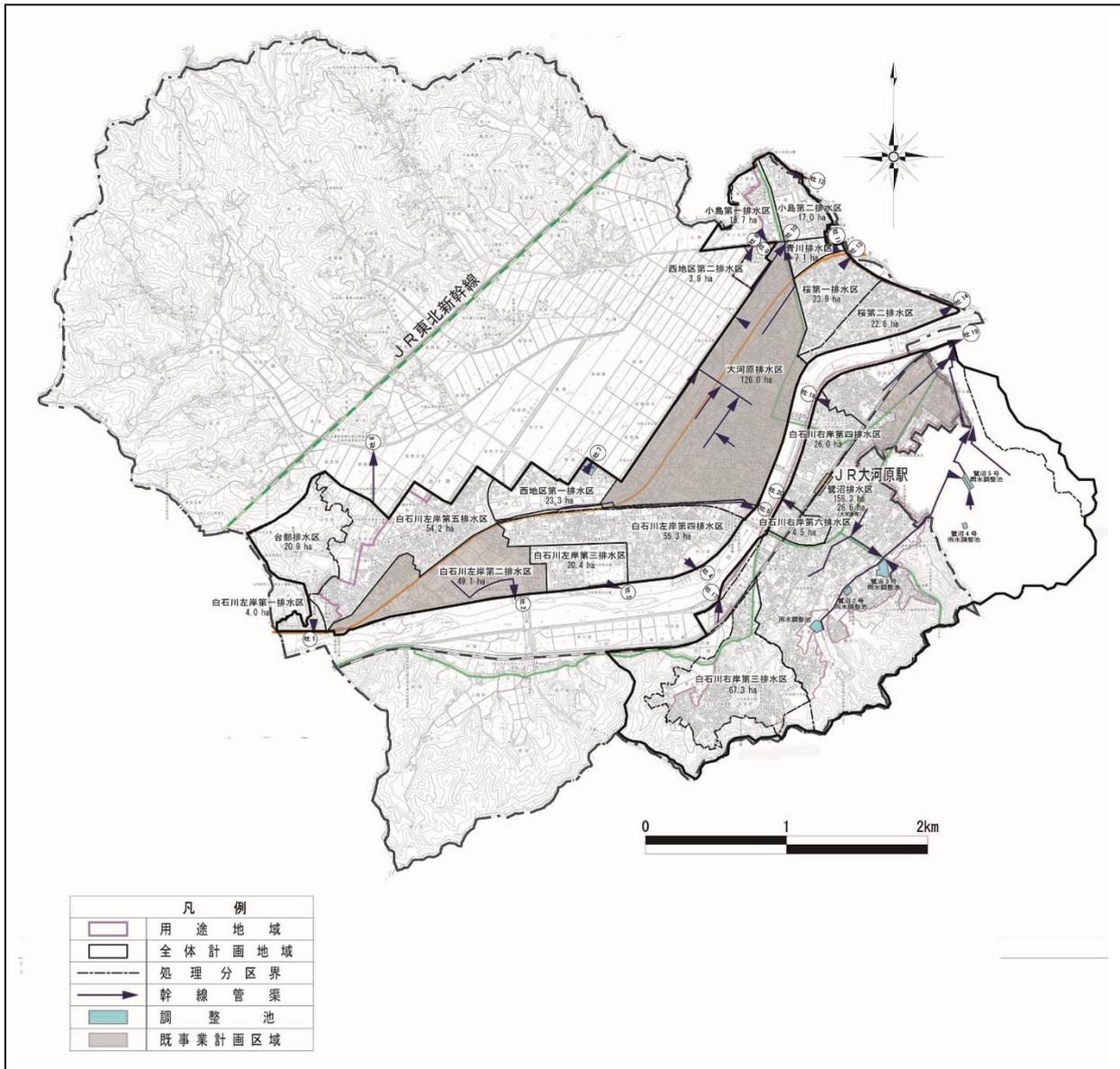
2) 雨水

白石川両岸の平地に形成された本町の市街地及び耕地は、たびたび浸水や冠水の被害を受けてきたため、古くから浸水対策事業を進めてきました。近年では鷺沼排水区雨水整備事業として、柴田町と共同で下流域から排水路及び調整池の整備を実施し、白石川へのスムーズな放流及び調整池への貯水により、浸水被害の解消を図っています。

表 3-33 風水害の履歴（平成元年以降）

災害年月日	災害種類	被害状況
平成元年 8 月 6 日	大雨洪水	台風 13 号により次の被害を受けた。 床上浸水 4 戸、床下浸水 51 戸、水田等の冠水 56ha、町道被害 3 箇所、その他で被害額は、63,665 千円 総雨量は 112 mm 程度、白石川最高水位 17.24m（尾形橋下流）
平成元年 8 月 27 日	大雨洪水	台風 17 号により次の被害を受けた。 床下浸水 44 戸、町道被害 2 箇所、その他で被害額は、881 千円 総雨量は 125 mm 程度、白石川最高水位 15.05m（尾形橋下流）
平成 2 年 11 月 30 日	大雨洪水	台風 28 号により次の被害を受けた。 床上浸水 1 戸、床下浸水 7 戸、崖崩被害 3 箇所、その他で被害額は、4,700 千円 総雨量は 106 mm 程度、白石川最高水位 14.31m（尾形橋下流）
平成 3 年 6 月 13 日	大雨洪水	豪雨により次の被害を受けた。 床下浸水 30 戸、排水路堤防決壊 2 箇所 総雨量は 64.5 mm、3~4 時雨量 56.5 mm
平成 3 年 8 月 7 日	大雨洪水	豪雨により次の被害を受けた。 床下浸水 17 戸、がけ崩れ被害 3 箇所 白石川最高水位 14.20m（尾形橋下流）
平成 3 年 9 月 19 日	大雨洪水	台風 18 号により次の被害を受けた。 床下浸水 2 戸、水田等の冠水 25ha 総雨量は 116 mm 程度 白石川最高水位 14.47m（尾形橋下流）
平成 6 年 9 月 29 日	大雨洪水	台風 26 号により次の被害を受けた。 床下浸水 2 戸、水田等の冠水 35ha 総雨量は 85 mm 程度 白石川最高水位 14.12m（尾形橋下流）
平成 10 年 9 月 16 日	大雨洪水	台風 5 号により次の被害を受けた。 床下浸水 3 戸、水田の冠水 2ha 総雨量は 93 mm 程度 白石川最高水位 14.25m（尾形橋下流）
平成 11 年 4 月 25 日	豪雨	豪雨により次の被害を受けた。 床下浸水 2 戸（稗田） 土砂崩れ（堤）
平成 14 年 7 月 11 日	大雨洪水	台風 6 号により稗田地区、高砂地区に次の被害を受けた。 床上浸水 14 戸 床下浸水 20 戸
平成 17 年 8 月 25 日	大雨洪水	台風 11 号により次の被害を受けた。 水稻冠水 10.5ha 水稻倒伏 10.2 ha 土砂崩れ 1 ヶ所
平成 18 年 9 月 27 日	豪雨	豪雨により次の被害を受けた。 床下浸水（稗田） 4 戸 土砂崩れ 1 ヶ所
平成 19 年 7 月 18 日	大雨洪水	台風 4 号により稗田地区、堤地区に次の被害を受けた。 稗田地区：床上浸水 2 戸 床下浸水 3 戸 堤地区：家屋の一部破損（裏山土砂崩れ）
平成 23 年 9 月 20 日	大雨洪水	台風 15 号により次の被害を受けた。 床上浸水 13 戸 床下浸水 69 戸 店舗浸水 8 戸 （被害地区：稗田、見城前、高砂、戸ノ内前、西原前、末広、丑越、緑町、南原前、金ヶ瀬土手下、橋本（袖谷地）、東桜） 小山田・堤幹線通行止め（土砂崩れ）
平成 24 年 6 月 19 日	大雨洪水	台風 4 号により稗田地区、西原地区に次の被害を受けた。 床上浸水 4 戸（稗田） 床下浸水 13 戸（稗田、高砂、西原前） 農道・水路法面崩壊 10 ヶ所

出典：「大河原町地域防災計画」（平成27年 大河原町）



出典：「下水道計画一般図（雨水）」（平成28年 大河原町）

図 3-33 下水道（雨水）計画図

9. その他の公共施設

(1) 教育施設

本町の小学校の児童数は、平成12年度までに大きく減少しましたが、その後、横ばいで推移しています。中学校の生徒数はやや遅れて平成17年から横ばいで推移し、高校は平成22年から横ばいになっています。

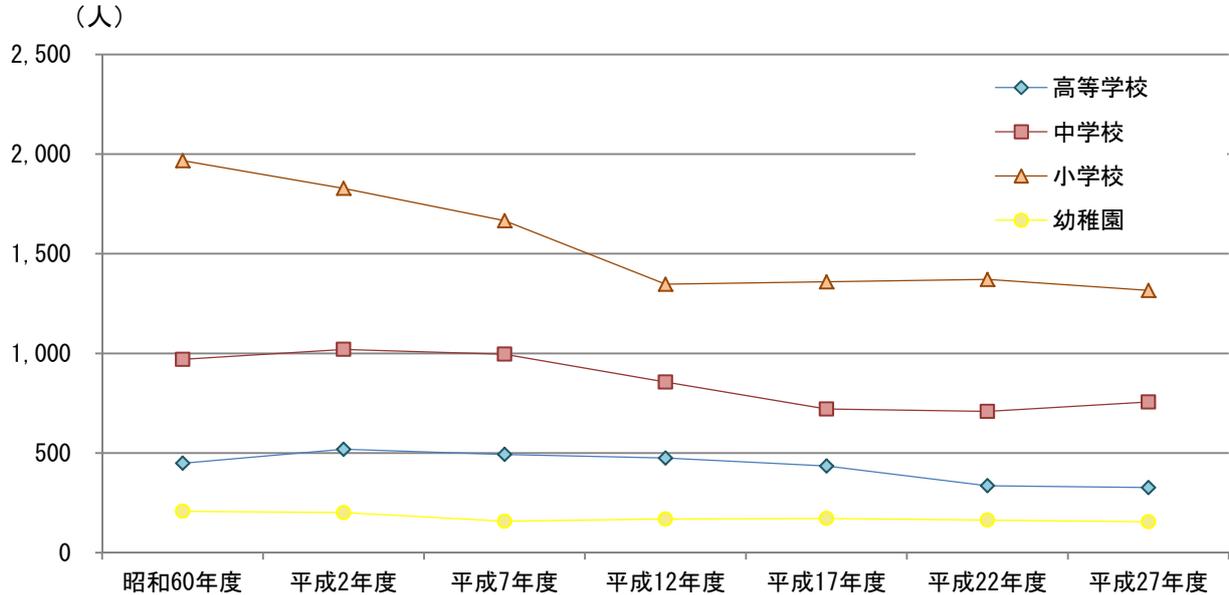
一方、幼稚園の児童数は、平成7年以降大きな変化はなく推移しています。

表 3-34 児童・生徒数の状況

(単位：人)

	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
昭和60年度	449	970	1,967	208
平成2年度	519	1,020	1,828	201
平成7年度	493	996	1,666	158
平成12年度	475	856	1,347	169
平成17年度	435	721	1,359	172
平成22年度	336	709	1,371	164
平成27年度	327	756	1,316	155

出典：「学校基本調査報告書」（平成28年 宮城県企画部）
資料：大河原カトリック幼稚園調べ



出典：「学校基本調査報告書」（平成28年 宮城県企画部）
資料：大河原カトリック幼稚園調べ

図 3-34 児童・生徒数の推移

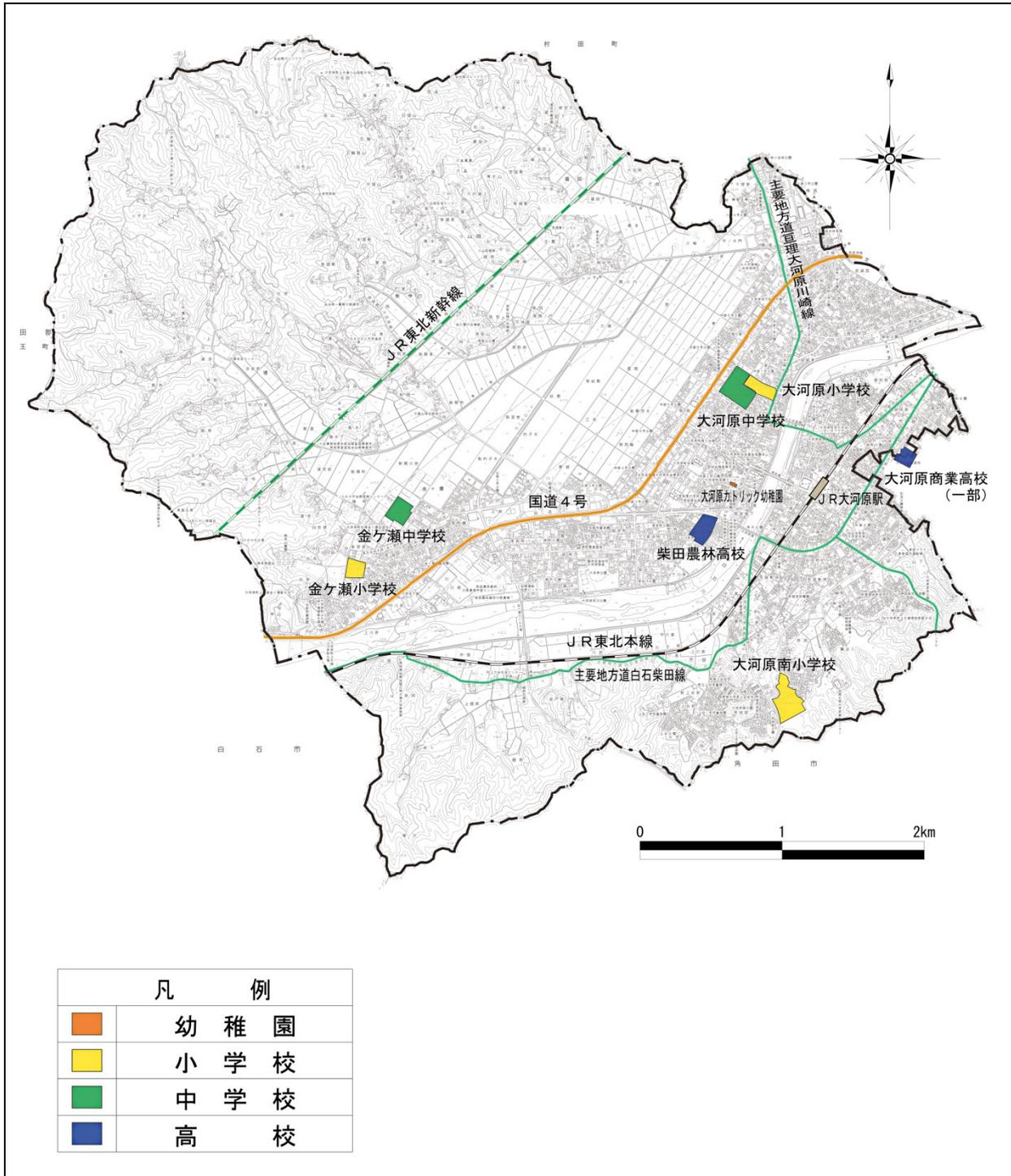


図 3-35 教育施設位置図

(2) 福祉施設

1) 保健福祉施設

本町の保健福祉施設は、下表のとおりとなっています。

保健センターや福祉センターは、町の保健・福祉サービスの拠点としてそれぞれアクセス性の高い町の中心部に位置しています。一方、高齢者福祉施設や障がい者福祉施設については、民間施設を補う形で福祉作業所が上谷地区に位置しています。

表 3-35 町の保健福祉施設の状況

種類	施設名称	定員 (人)	年間利用者数(人)	
			平成 24 年度	平成 25 年度
保健 福祉 施設	保健センター	-	11,591	11,143
	福祉センター	-	-	-
	福祉作業所さくら	15	-	-

資料：大河原町福祉課調べ

2) 子育て支援施設

本町の子育て支援施設は、下表のとおりとなっています。

子育て支援については、世代交流いきいきプラザ内の子育て支援センターを中心に、桜保育所、上谷児童館、大河原児童センターなどの施設において、未就学児を含む子育て全般に関する相談窓口が設置されています。

一方、就学児に対する放課後児童クラブは各小学校周辺に整備されています。

表 3-36 子育て支援施設の状況

種類	施設名称	定員 (人)	年間利用者数(人)	
			平成 27 年度	平成 28 年度
児童 福祉 施設	桜保育所	120	1,243	1,284
	大河原児童センター	-	3,591	6,257
	上谷児童館	-	3,337	3,707
	世代交流いきいきプラザ・子育て支援センター	-	18,986	15,163
放課 後児 童ク ラブ	上谷児童クラブ	40	6,964	6,360
	児童センター児童クラブ	45	7,804	9,253
	金ヶ瀬児童クラブ	30	4,007	4,338
	金ヶ瀬カトリック児童クラブ	40	平成 29 年度より開所	
	世代交流いきいきプラザ・すまいる児童クラブ	45	13,168	13,168
	世代交流いきいきプラザ・わくわく児童クラブ	45		

資料：大河原町子ども家庭課調べ

3) 保育所

本町には、平成29年4月現在で町立の保育所が1ヶ所、私立の保育所が3ヶ所、小規模保育事業所が2ヶ所あります。平成24年度に老朽化のため町立保育所を1ヶ所閉所しましたが、同年に私立保育所の建て替えを行ったことで全体の入所定員は30名増員しました。

また、平成27年度から新たに小規模保育事業所が開設され、さらに入所定員を増やすなど増加する保育ニーズに対応していますが、このような努力にも関わらず、平成20年以降、待機児童が毎年発生しています。

なお、町立の桜保育所は、建築から40年が経過しており、老朽化が著しいため施設近隣の町有地への移転・建替えが予定されています。

表 3-37 保育所の入所児童数の状況

	町立保育所			私立保育所			合計		
	施設数	定員 (人)	児童数 (人)	施設数	定員 (人)	児童数 (人)	施設数	定員 (人)	児童数 (人)
昭和 60 年度	2	200	193	2	210	210	4	410	403
平成 2 年度	2	200	193	2	210	188	4	410	381
平成 7 年度	2	200	192	2	180	188	4	380	380
平成 12 年度	2	200	212	2	180	197	4	380	409
平成 17 年度	2	200	181	3	270	263	5	470	444
平成 22 年度	2	200	184	3	270	305	5	470	489
平成 27 年度	1	120	113	3	380	397	4	500	510
平成 28 年度	1	120	106	3	380	377	4	500	483
平成 29 年度	1	120	110	3	380	385	4	500	495

資料：大河原町子ども家庭課調べ（各年4月現在）

表3-38 小規模保育事業施設の入所児童数の状況

	施設数	定員(人)	児童数(人)
平成 27 年度	1	15	3
平成 28 年度	2	27	21
平成 29 年度	2	27	17

資料：大河原町子ども家庭課調べ（各年4月現在）

表 3-39 待機児童の状況

(単位：人)

	待機児童数		待機児童数
平成 17 年度	8	平成 24 年度	8
平成 18 年度	5	平成 25 年度	12
平成 19 年度	0	平成 26 年度	12
平成 20 年度	9	平成 27 年度	17
平成 21 年度	8	平成 28 年度	15
平成 22 年度	9	平成 29 年度	22
平成 23 年度	26	-	-

資料：大河原町子ども家庭課調べ（各年4月現在）

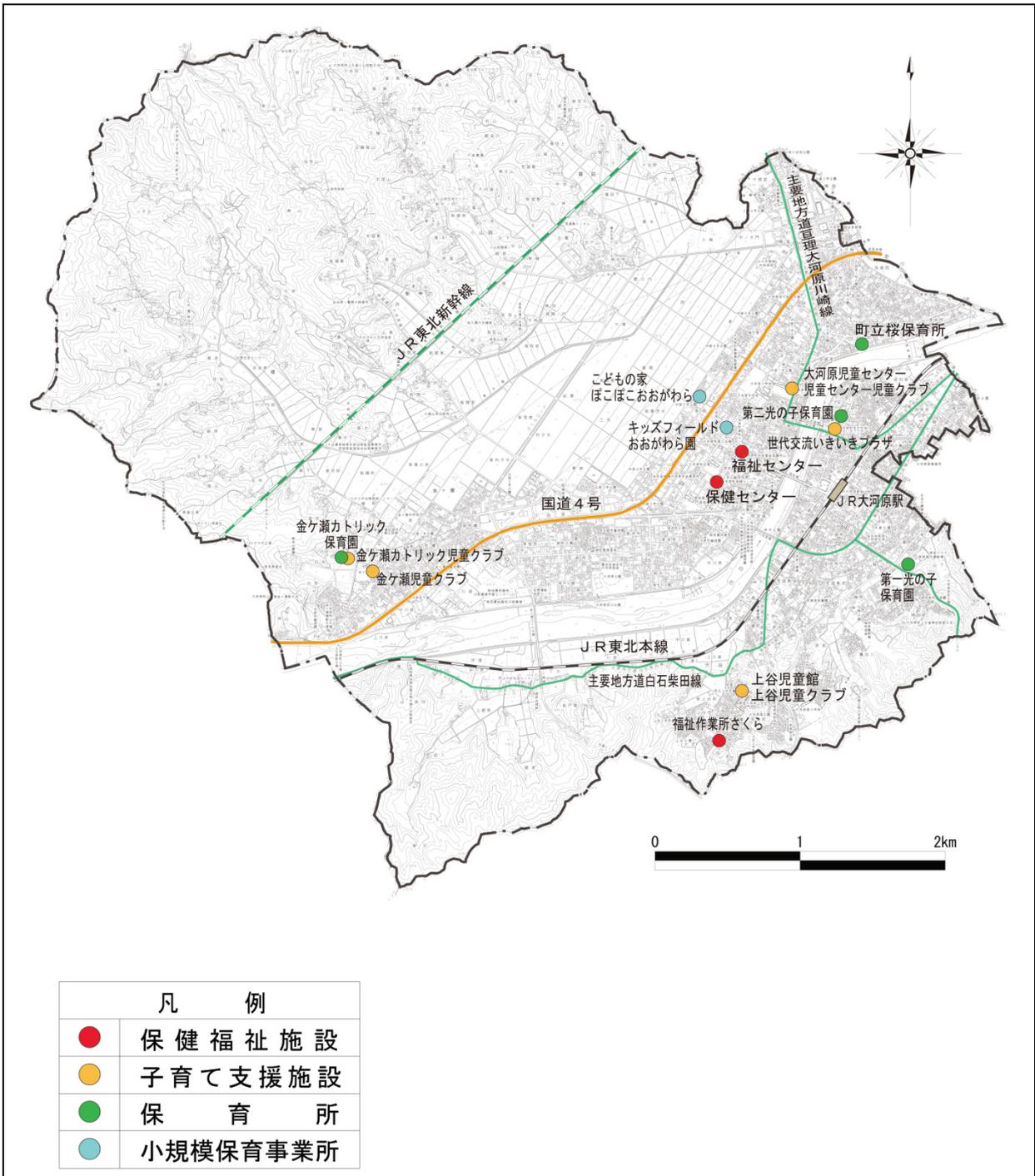


図 3-36 福祉施設位置図



栄町団地



上谷団地 (A-1棟)

(4) 社会施設

本町の社会施設として、コミュニティ・文化施設が5施設、スポーツ施設が5施設、集会所が28施設、生活センターが6施設あります。集会所や生活センターは、町内各地に広く分布しています。

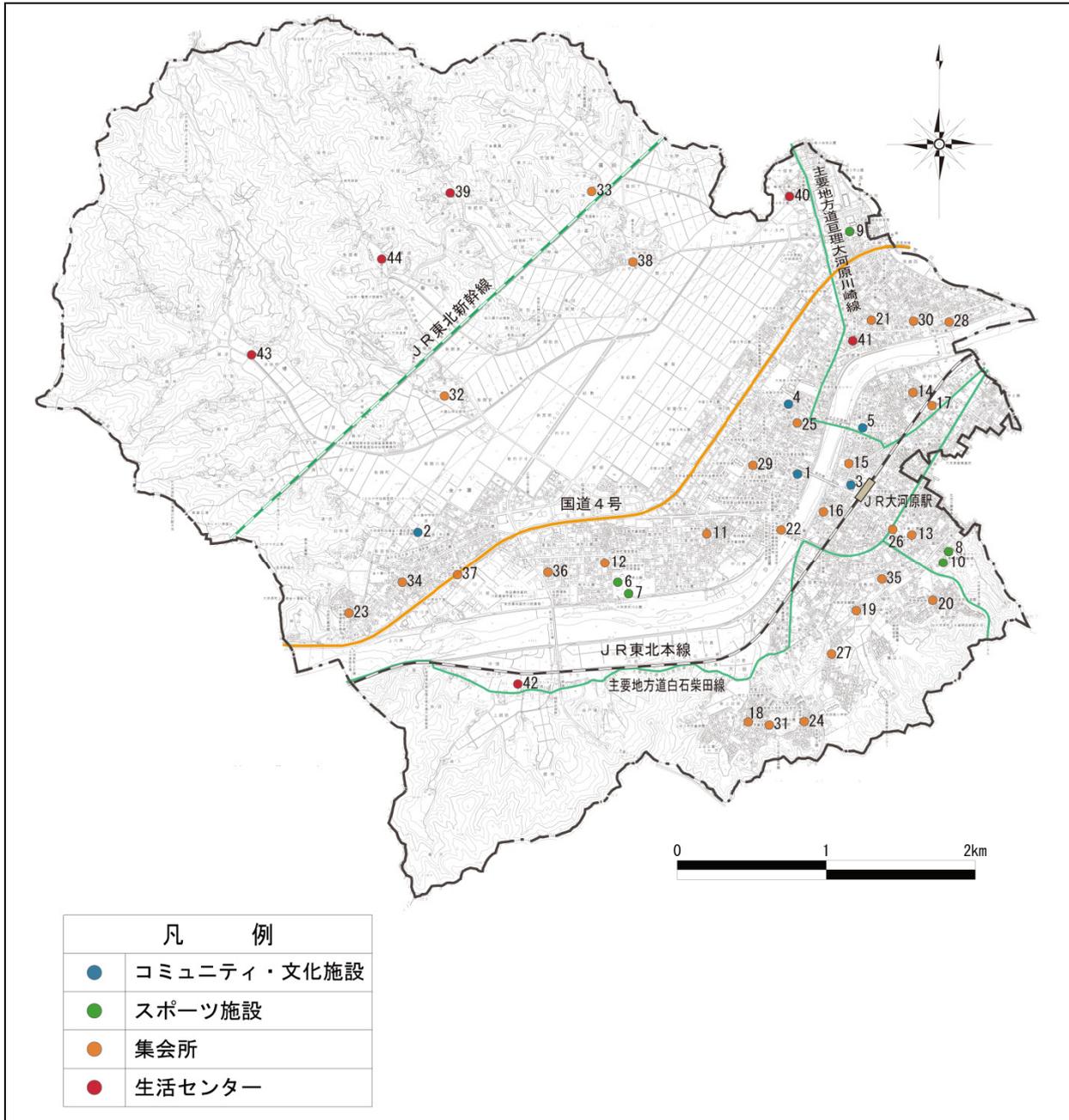


図 3-38 社会施設位置図

表 3-41 社会施設の利用状況

位置図番号	類 型	施設名称	年間利用者数(人) 平成27年
1	コミュニティ・文化施設	にぎわい交流施設	31,202
2	コミュニティ・文化施設	金ヶ瀬公民館	11,412
3	コミュニティ・文化施設	大河原町駅前図書館	25,812
4	コミュニティ・文化施設	民俗資料収蔵室	—
5	コミュニティ・文化施設	世代交流いきいきプラザ ・大河原町元気サロン	25,141
6	スポーツ施設	大河原公園テニスコート	7,692
7	スポーツ施設	大河原公園多目的広場	7,429
8	スポーツ施設	東部グラウンド	3,442
9	スポーツ施設	総合体育館	79,494
10	スポーツ施設	東部屋内運動場	9,916
11	集会所	上川原集会所	3296
12	集会所	丑越集会所	4,369
13	集会所	東部集会所	1,885
14	集会所	保料集会所	1,621
15	集会所	むつみ集会所	2,679
16	集会所	尾形丁集会所	1,123
17	集会所	西原集会所	2,100
18	集会所	上谷集会所	1,940
19	集会所	原前集会所	1,452
20	集会所	稗田前集会所	1,472
21	集会所	西桜集会所	1,367
22	集会所	上町集会所	1,083
23	集会所	台部集会所	454
24	集会所	見城前集会所	2,772
25	集会所	本町集会所	2,321
26	集会所	幸中島集会所	3,301
27	集会所	二本松集会所	1,768
28	集会所	東桜集会所	1,078
29	集会所	中町集会所	1,313
30	集会所	南桜集会所	1,247
31	集会所	上谷東集会所	408
32	集会所	新開集会所	267
33	集会所	福田集会所	279
34	集会所	金ヶ瀬中央集会所	1,034
35	集会所	住吉町研修交流センター	2,236
36	集会所	金ヶ瀬東集会所	2,563
37	集会所	金ヶ瀬新町集会所	1,014
38	集会所	橋本交流センター	—
39	生活センター	小山田生活センター	—
40	生活センター	小島生活センター	—
41	生活センター	新田町生活センター	—
42	生活センター	上大谷生活センター	—
43	生活センター	堤生活センター	—
44	生活センター	新寺生活センター	—

出典：「主要施策の成果説明書」（平成28年 大河原町）
「大河原町総合体育館利用状況調査」（平成28年 大河原町）
「大河原町駅前図書館」（平成28年 大河原町），
「社会施設等利用状況」（平成28年 大河原町）
「大河原町ホームページ（生活センター）」（平成29年 大河原町）

10. 観光・景観・イベント・レクリエーション

(1) 観光

本町の年間観光客入込数は、概ね40万人台～50万人台で推移していますが、平成23年は317,048人、平成27年は289,411人と、天候の影響などにより他の年と比較し極端に少なくなる年もあります。内訳を見ると、春のイベント「おおがわら桜まつり」の入込数となっています。このため、開催期間中に天候不順が続いた平成27年のように天候の影響を受けやすい状況となっています。

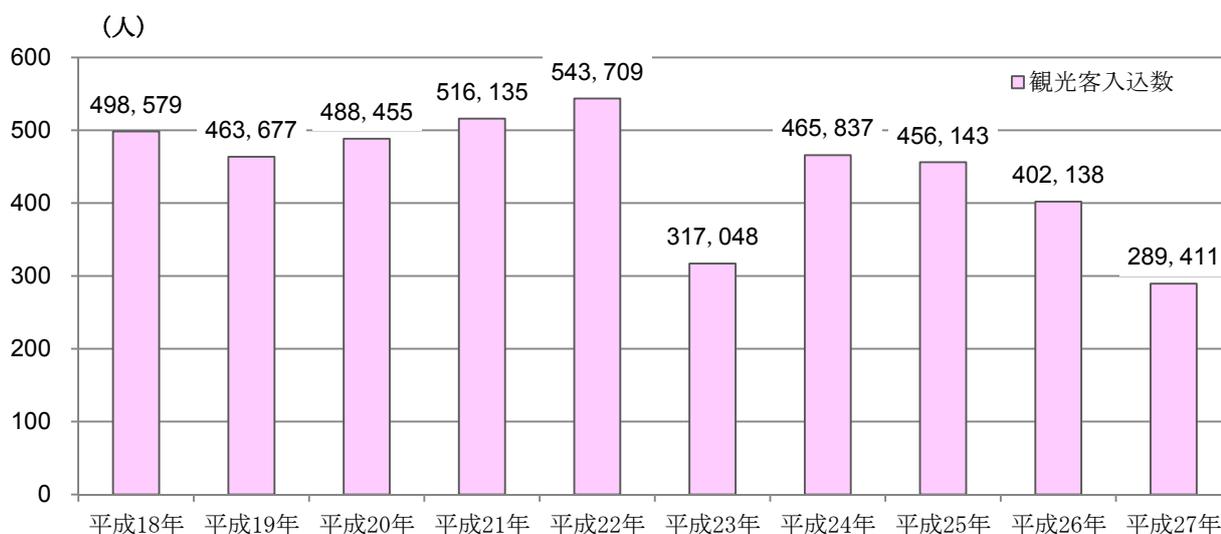
表 3-42 観光客入込数の状況

(単位：人)

	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
観光客入込数	498,579	463,677	488,455	516,135	543,709

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
観光客入込数	317,048	465,837	456,143	402,138	289,411

出典：「観光統計概要」（平成27年 宮城県経済商工観光部観光課）



出典：「観光統計概要」（平成27年 宮城県経済商工観光部観光課）

図 3-39 観光客入込数の推移

表 3-43 イベント入込数の状況

(単位：人)

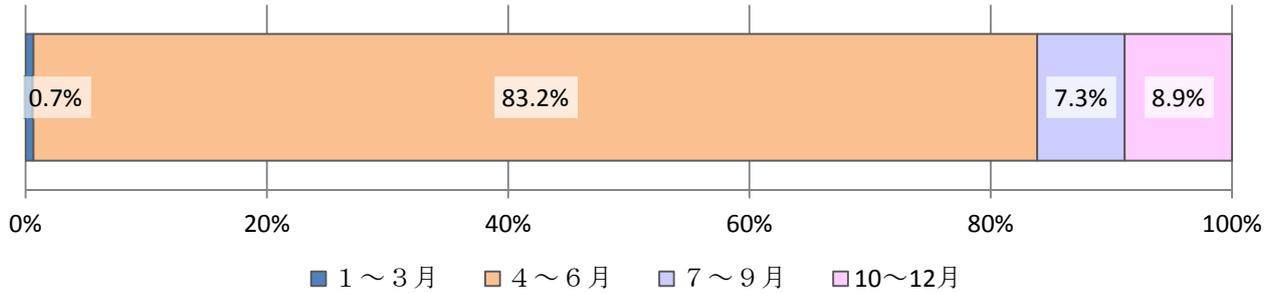
	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	対前年増減数	前年比 (%)
おおがわら桜まつり	260,000	263,291	239,777	△ 23,514	91.1%

出典：「観光統計概要」（平成27年 宮城県経済商工観光部観光課）

表 3-44 四半期別入込数の状況（平成27年度）

	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	観光客 入込数 計	宿泊観 光客数
入込数(人)	1,890	240,777	21,000	25,744	289,411	37,854
比 率(%)	0.7	83.2	7.3	8.9	100.0	—

出典：「観光統計概要」（平成27年 宮城県経済商工観光部観光課）



出典：「観光統計概要」（平成27年 宮城県経済商工観光部観光課）

図 3-40 四半期別入込数の割合（平成27年度）

本町では、蔵王連峰への眺望や一目千本桜を中心とした景観に優れた場所が数多く見られます。主なものを下図に示します。

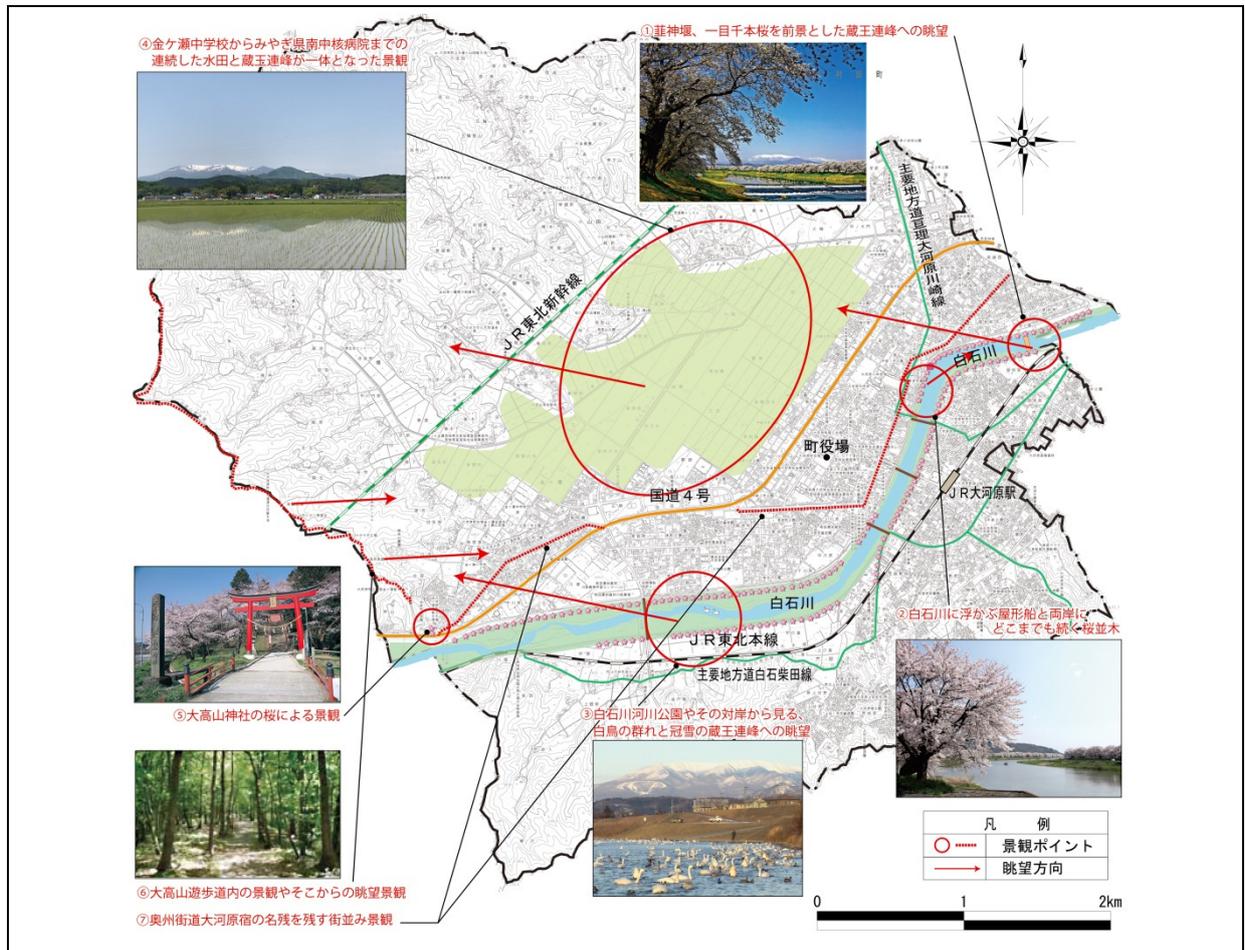


図 3-41 主な景観・眺望点位置図

1.1. 法適用状況

(1) 都市計画法

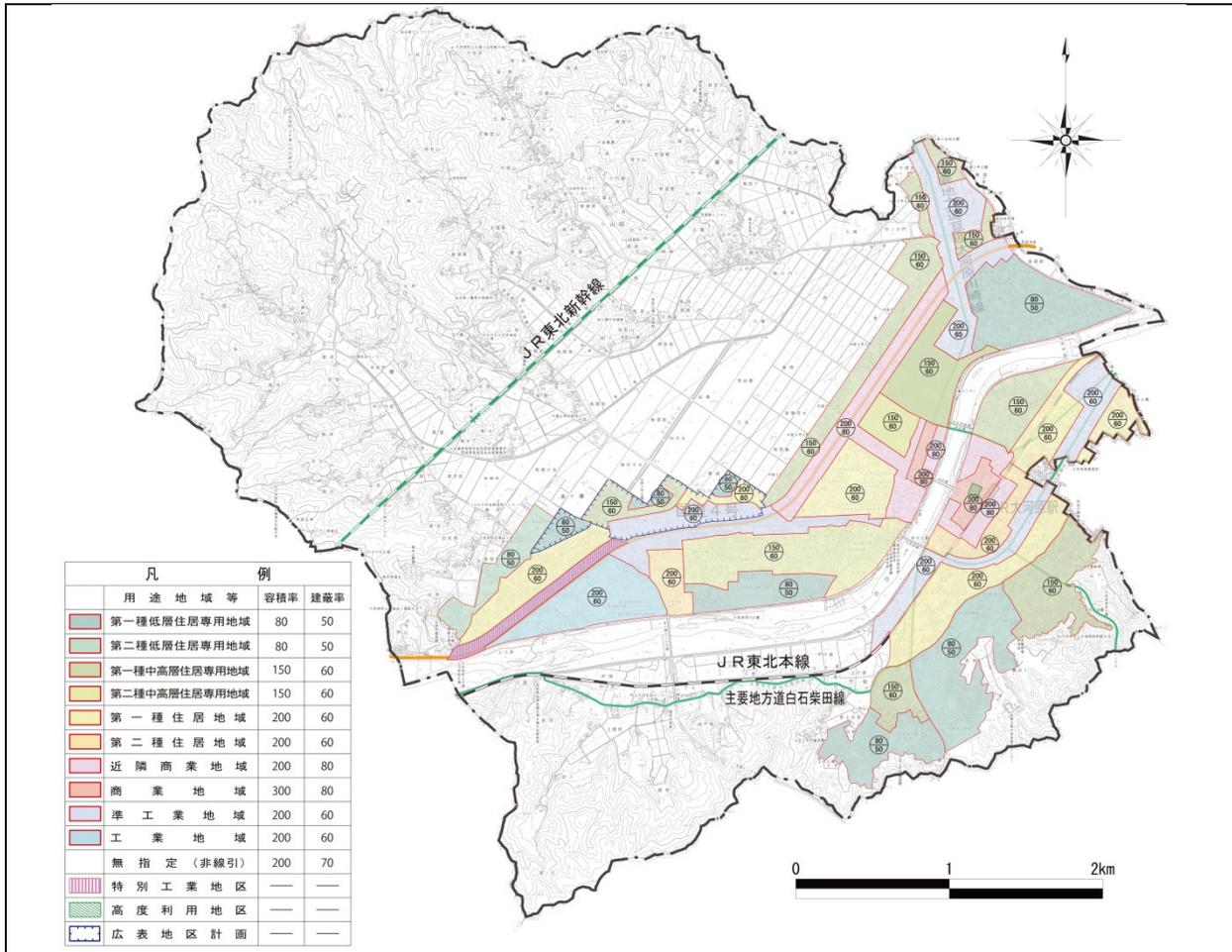
本町では、一般国道4号などの幹線道路沿いに近隣商業地域や準工業地域の用途地域が指定され、その背後地に住居系の用途が指定されています。

特に、金ヶ瀬地区には大きな工業用地が指定され、企業誘致が進んでいます。

表 3-45 用途地域指定の状況

用途地域等	容積率 (%)	建蔽率 (%)
第一種低層住居専用地域	80	50
第二種低層住居専用地域	80	50
第一種中高層住居専用地域	150	60
第二種中高層住居専用地域	150	60
第一種住居地域	200	60
第二種住居地域	200	60
近隣商業地域	200	80
商業地域	300	80
準工業地域	200	60
工業地域	200	60
無指定 (非線引き)	200	70

出典：「大河原町都市計画図」(平成26年 大河原町)



出典：「大河原町都市計画図」(平成26年 大河原町)

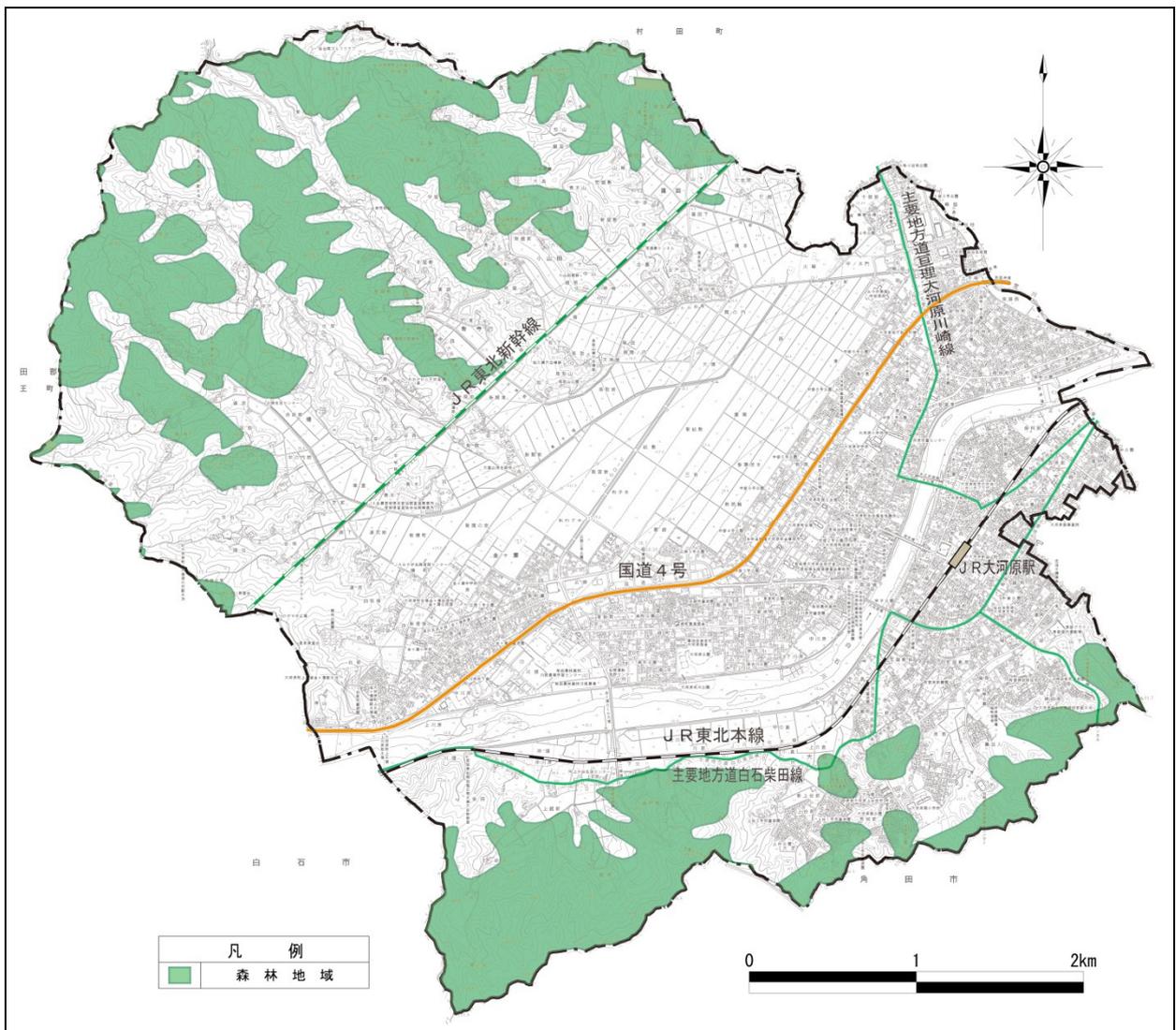
図 3-42 都市計画規制状況図

(2) 森林地域

宮城県土地利用基本計画は、国土利用計画宮城県計画によって示された土地利用の長期構想を受けて、県土を都市、農業、森林、自然公園、及び自然保全の5地域に区分したうえで地域ごとの土地利用の原則及び地域間の調整指導方針を明らかにしています。

森林地域については、森林の土地として利用すべき土地があり、林業の振興又は森林の有する諸機能の維持増進を図る必要がある地域であり、森林法第2条第3項に規定する国有林の区域又は同法第5条第1項の地域森林計画の対象となる民有林の区域として定められることが相当な地域とされています。

本町では、北西部丘陵地の尾根沿い及び南部丘陵地において森林地域が指定されています。



出典：「大河原町都市計画基礎調査 報告書」（平成28年 大河原町）

図 3-43 森林区域図

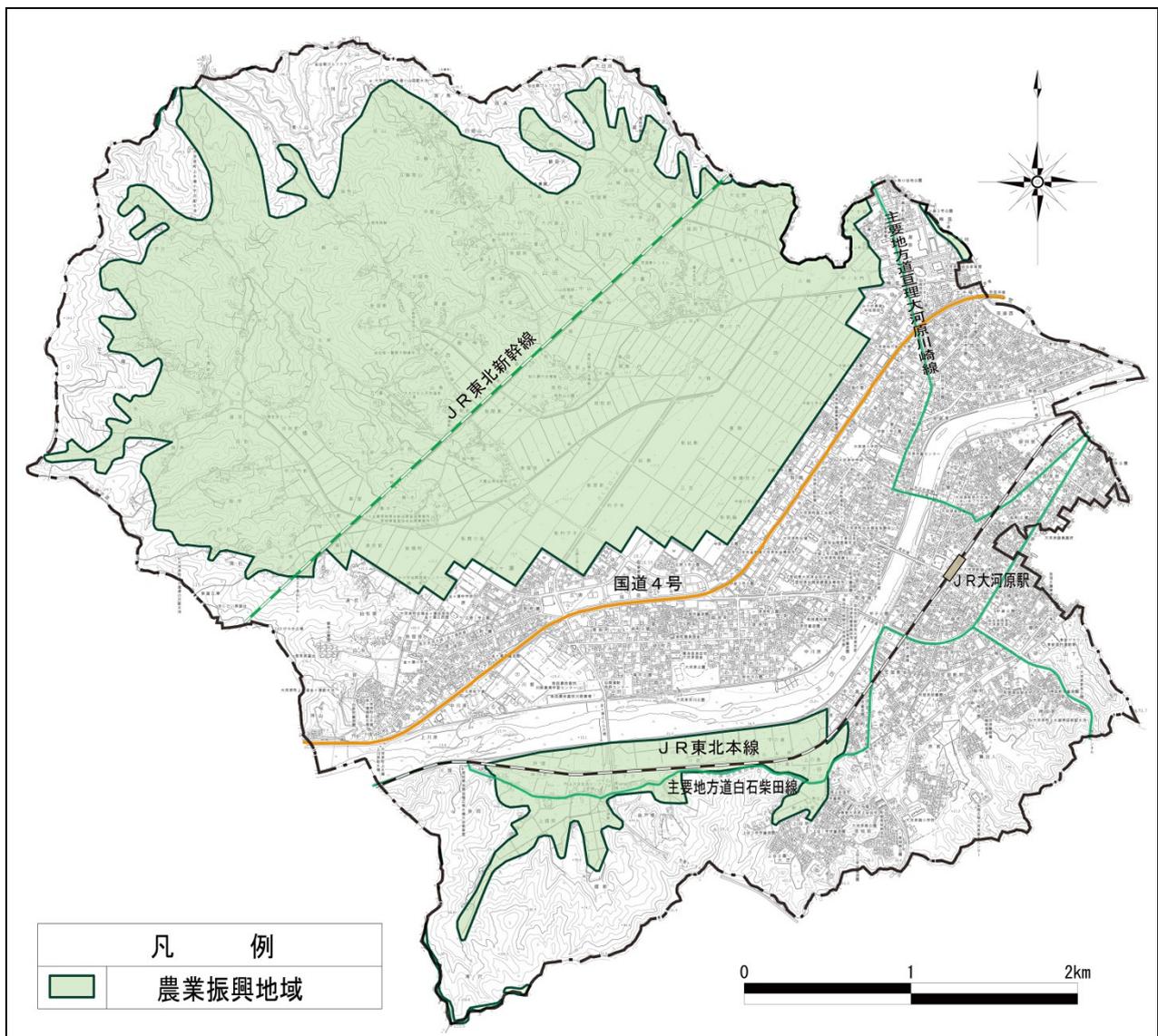
(3) 農業地域

宮城県土地利用基本計画は、国土利用計画宮城県計画によって示された土地利用の長期構想を受けて、県土を都市、農業、森林、自然公園、及び自然保全の5地域に区分したうえで地域ごとの土地利用の原則及び地域間の調整指導方針を明らかにしています。

農業地域については、農用地として利用すべき土地があり、総合的に農業の振興を図る必要がある地域であり、農業振興地域の整備に関する法律第6条により農業振興地域として指定されることが相当な地域とされています。

このうち農用地区は、農業生産の基盤として確保されるべき土地であることに鑑み、土地改良、農用地造成等の農業基盤の整備を計画的に推進するとともに、他用途への転用は行わない地域とされています。

本町では、北西部の平地及び白石川右岸の平地が農用地区域に指定されています。



出典：「国土数値情報」（平成21年 国土交通省）

図 3-44 農業振興地域

(4) 河川区域

阿武隈川水系白石川は、刈田郡七ヶ宿町西部の山形県境蓬沢山山麓より発し、白石市、蔵王町、大河原町、村田町を経て柴田町で阿武隈川と合流する流路延長69.7km、圏域面積797.1km²の一級河川です。東側の町境で、白石川の支川である荒川と合流しています。

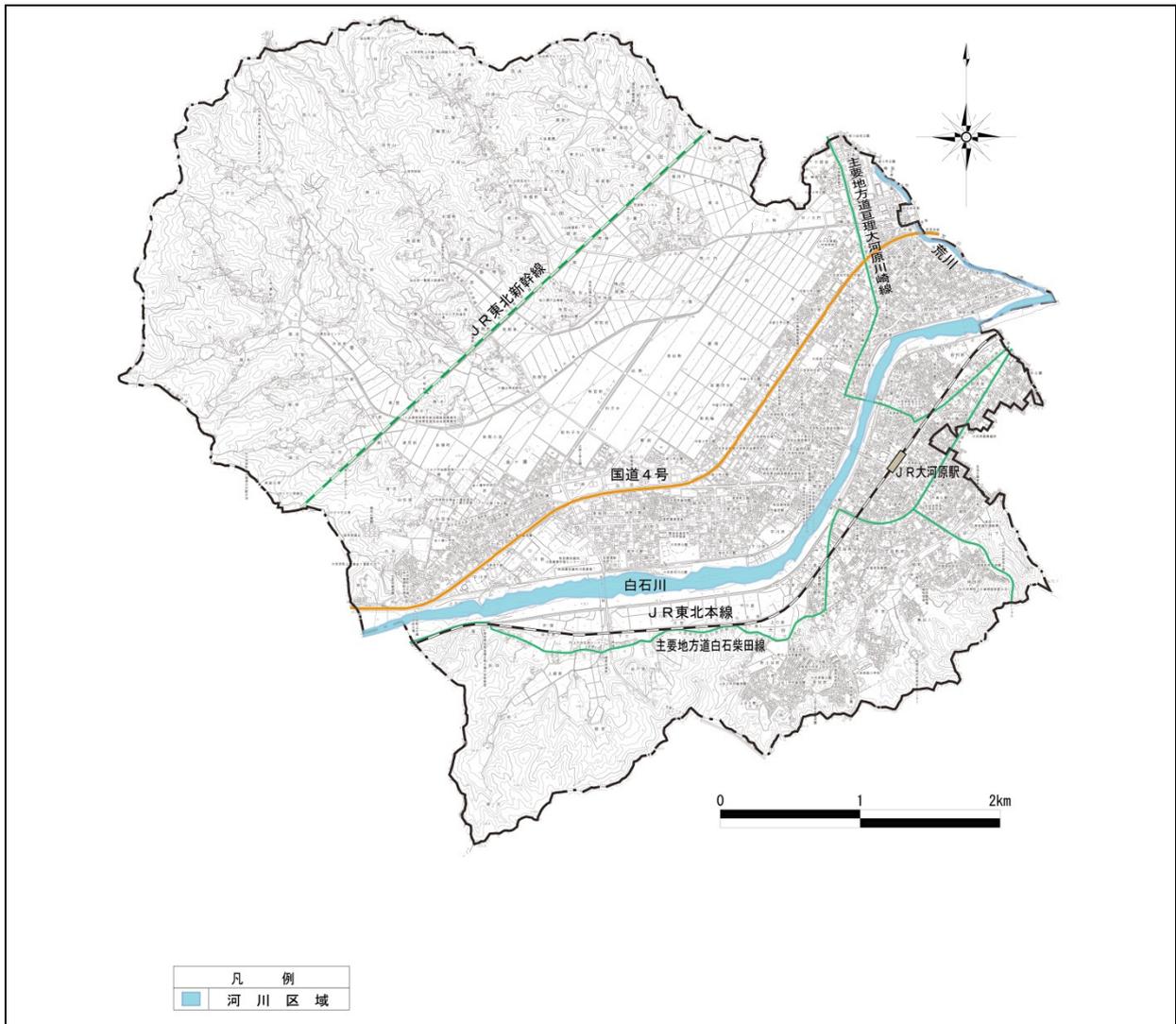
白石市から本町にかけては、河道に交互砂州が形成され、瀬や淵が存在し、魚類の生息場所や産卵場所となっています。

また、本町および柴田町市街を流れており、多くの河川公園が整備され市民の憩いの場となっています。

表 3-46 白石川の概要

水系	河川名	区間延長	流域面積
阿武隈川水系	白石川	59.9 km	797.1 km ²
阿武隈川水系	荒川	17.0km	—

出典：「一級河川阿武隈川水系白石川圏域河川整備計画」（平成21年 宮城県）



出典：「大河原町都市計画基礎調査 報告書」（平成28年 大河原町）

図 3-45 河川区域図

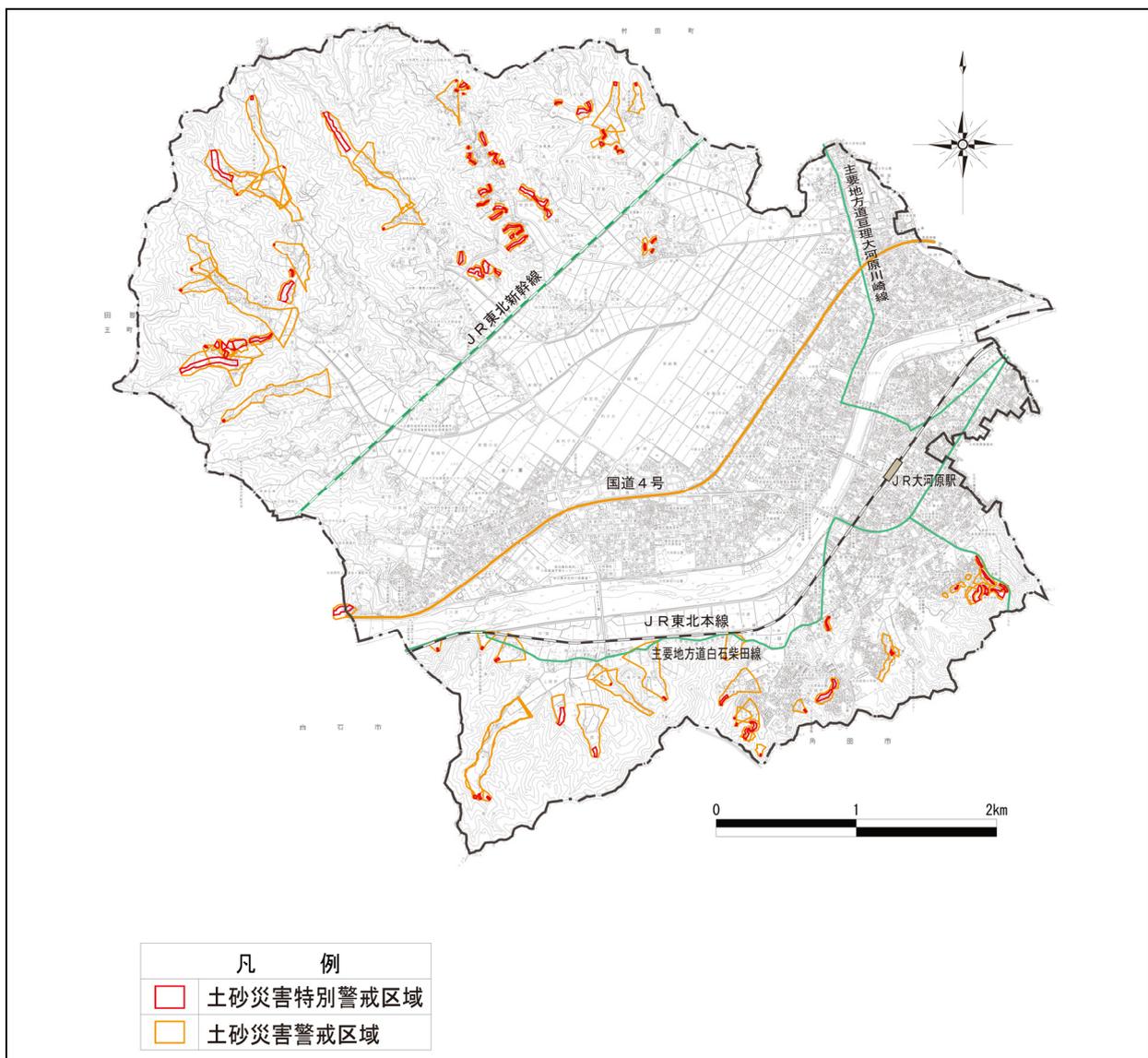
(5) 土砂災害警戒区域等

土砂災害防止法では、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれがある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存建物の移転等のソフト対策を推進する目的で、土砂災害のおそれがある区域に対し「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」の2種類を指定しています。

「土砂災害警戒区域」は、土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備を図る区域とされています。

一方、「土砂災害特別警戒区域」は、土砂災害警戒区域のうち、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域において、更に特定開発行為の制限、建築物の構造規則等を行う区域とされています。

本町では、北西丘陵地の谷部と南東丘陵部に指定されています。



出典：「大河原防災マップ」（平成31年）

図 3-46 土砂災害警戒区域図